

つり環境ビジョンコンセプトに基づく
LOVE BLUE
事業報告書
2020 年度

～全国に広がる感謝の輪～



LOVE
BLUE

地球の未来を

つり環境ビジョン

LOVE BLUE 事務局

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～活動理念～

私たちの考える「LOVE BLUE ～地球の未来を～」とは、持続可能な釣り環境を構築するために、釣りにかかわるのすべての人々が、共通の想いをもって発信する未来に向けた理念です。海や川に囲まれ、水に恵まれた国、日本。日本の釣り文化は、世界的に見ても群を抜いて高度であり、とても魅力的です。だからこそ私たちは、「釣りで自然を汚さない」から「釣りが自然を再生させる一助になる」ように環境への意識をさらに高め、世界に誇る「水辺の環境保全」を志向する社会貢献事業の実施を目指してまいりたいと考えています。

「LOVE BLUE ～地球の未来を～」をスローガンに、まずは、「環境保全」と「資源回復」を両軸に、「水辺をキレイに」「サカナを増やそう」「フィールドを広げよう」を3つの優先事項とし活動してまいります。

I



- I 参加企業一覧
- II LOVE BLUE 事業の取り組み
- III LOVE BLUE TOPICS I
- IV 水中クリーンアップ活動
- V 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成
- VI 専門機関と連携した放流事業
- VII 水産庁後援 内水面釣り場拡大事業 (ワカサギ)
- VIII LOVE BLUE TOPICS II

巻末 松下和夫 京都大学名誉教授
SDGs (持続可能な開発目標) と LOVE BLUE 事業
公式 FACE BOOK・公式ホームページのご案内

未来へ残したい美しい地球の つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業

ア	(株)オリムピック (株)オンスタックル	サンヨーナイロン(株) (株)サンライン (株)34 THE OWL GENE LURE'S (株)ジークラック (株)シーフロアコントロール (株)シマノ (株)清水 (株)下田漁具 (株)ジャクソン (株)ジャッカル (株)ジャンプライズ (株)上州屋 skillful (株)スズミエンタープライズ スタジオディーピーアイ(株) スターンキーパー(株) スティールハント (株)スナガ (株)スーパー・ビー (株)スポーツライフプラネッツ (株)スミス 征興産業(株) (株)清光商店 (株)ゼニス (株)双進
ING co., (株)アイビック (有)アイビーライン アキレス(株) (有)アクティブ アサヒレジャー(株) アチック (株)ア・ネットコトブキヤ (株)アピア (株)アムズデザイン (有)アリゲーター技研 (株)アングラズ (有)アングル (株)イシグロ (有)イシナダ釣工業 (株)issei INFINITE SEEDS MAKERS(株) ヴァンフック(株) (株)ウィング 植田漁具(株) (株)ウォーターハウス (有)ウォーターランド (株)魚矢 (株)宇崎日新 ウチダトレーディング・モリックスジャパン Woodream(ヒットコンポジット(株)) (株)エイチ・エー・エル (株)エイテック (株)E S T A T E NPO法人ジャパンゲームフィッシュ協会 (株)エパーグリーンインターナショナル エフ・ケイ (有)エムワントレーディング O S G S (有)オー・エス・ピー オーシャンフリークス(株) (株)オーナーばり (株)オーパデザイン (株)オオモリ (株)OKUMAN (有)オジーズ (株)小野由 (株)オフィスアクセル (有)オフィス・ユーカリ	カ (株)鶴祥 景山産業(株) (株)カズマーク (株)カツイチ (有)加藤精工 カハラジャパン(株) (有)カビィ (株)がまかつ (有)カラズインターナショナル (株)川せみ針 (有)ガンクラフト (有)関門工業 (株)キサカ (株)キザクラ (株)K I L L E R H E A T 金鯰 (株)キーストン クオリティライフ (株)クリーブラッツ (株)Grayhound クレハ合織(株) (株)クロノコーポレーション グローブライド(株) (株)KIOB (株)ケイテック (株)ゲインコーポレーション (株)ケーター関東 ゲーリーインターナショナル(株) ケンインターナショナル(株) (株)剛樹 (株)ゴーセン (一社) KONI (株)コヒナタ	ク 第一精工(株) ダイトウブク(株) 大同(株) 大同石油(株) 太陽産業(株) (株)ダイレイ タカ産業(株) 高階救命器具(株) (株)タカタ (株)タカミヤ (株)タックルハウス (株)達人 谷山商事(株) (株)タネ・マキ (株)ダミキジャパン (株)ダン 痴虫 中央漁具(株)
	サ (有)財津釣具 (有)サウスウィンド 栄通商(株) 櫻井釣漁具(株) (株)ささめ針 (株)ザップ (有)サニー商事 サポートエンジニアリング フラー	

ために今私たちは行動します

259社・団体参加(2021年3月31日現在 50音順)

- | | | |
|---------------------|--------------------|-------------------------|
| (株)津田商会 | フィッシュ・アンド・ハート(株) | 山田電器工業(株) |
| (株)ツネミ | Fishman(株)アレア | 山豊テグス(株) |
| (株)釣研 | FIELD BACK | 山本光学(株) |
| つりー(株) | プエブロ(株) | (株)ヤマリア |
| (株)DRT | (株)フォレスト | (株)ヤリエ |
| (株)ティムコ | FOLLOW | ユニチカ(株) |
| T. H. タックル | 富士工業(株) | (株)ヨコハマ |
| D-CLAW | 富士灯器(株) | (有)よつあみ |
| (株)DSTYLE | (株)フジノライン | ラ |
| (株)ディーパース・ファクトリー | (株)フジワラ | (株)ラインシステム |
| (株)テクノス | (株)藤原辰次商店 | (有)ラガチャイナ |
| (株)デプス | (株)ブリーデン | 落花生 |
| (株)デュオ | フルシロプロダクトデザイン | (株)ラッキークラフト |
| (株)天龍 | ブルーブルー(株) | R a t t y t w i s t e r |
| (株)トアルソン | (株)ブレイズアイ | ラパラ・ジャパン(株) |
| (株)トゥームストーン | プロズワン | REALS |
| 東邦産業(株) | (株)プロックス | (株)リガーレ |
| 東レ・モノフィラメント(株) | ベイトプレス | (株)リコーサーバンス |
| (有)トオヤ | BeveL | (株)リチャーズ |
| (株)土肥富 | (株)ベルモント | リップラップ |
| (株)TRYALL | (株)北摂マリン | リトルジャック(株) |
| DRANCKRAZY(株) | Bottomup(株) | (有)リトルプレゼンツ |
| DreemUp | BOREAS | (株)リプレイ |
| ナ | (株)ボンバダアグア | リミット |
| (株)内外出版社 | マ | lure angle HAMA |
| (株)ナカジマ | (株)マガジン・マガジン | ルアーショップ アンドウ |
| ニッコー化成(株) | マルキユー(株) | (株)ルミカ |
| (株)NOIKE | 丸米商事(株) | +Rooms' |
| ハ | (株)マルシン漁具 | RAID JAPAN(株) |
| (株)ハイテックボート | MARUTE | (株)レイン |
| ハイドアップ(有) | (株)まるふじ | LEGAME(レガーム) |
| (株)バスディジャパン | mibro | レジットデザイン(株) |
| バスデイ(株) | (株)ミヤマエ | LESS is MORE |
| (株)林釣漁具製作所 | (株)ムカイフィッシング | (有)ロデオクラフト |
| (株)ハヤブサ | (株)名光通信社 | ワ |
| はり秀(株) | 明邦化学工業(株) | W I L D F I N S |
| (株)ハリミツ | (有)メガテック | (株)脇漁具製作所 |
| (有)HMKL | メガバス(株) | (株)和田製作所 |
| HAND MADE LURE HIRO | メジャークラフト(株) | (株)ワトスファクトリ |
| (株)パームス | (株)目探 | (株)ワールドスポーツ |
| (株)ビーエムオー・ジャパン | moriken speed bite | |
| ビジュアルイズイメージ(株) | (株)もりげん | |
| ピュア・フィッシング・ジャパン(株) | (株)モーリス | |
| 兵庫通商(株) | ヤ | |
| (有)ヒロカコーポレーション | (株)ヤマイ | |



2013 年 4 月 事業開始「環境・美化マーク」



2016 年 4 月 千葉県南房総市 石井裕 市長を表敬訪問
左：石井裕 市長 右：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2015 年 4 月 地球環境基金企業協働プロジェクト第 1 号
水辺の環境保全を担う NPO 等助成開始



2016 年 5 月 G7 伊勢志摩サミットと連携



2015 年 6 月 エコライフ・フェア 2015 望月義夫 環境大臣 (当時) ブース来訪
中央：望月義夫 環境大臣 (当時)
左：当工業会 大村一仁 副会長 右：当工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長

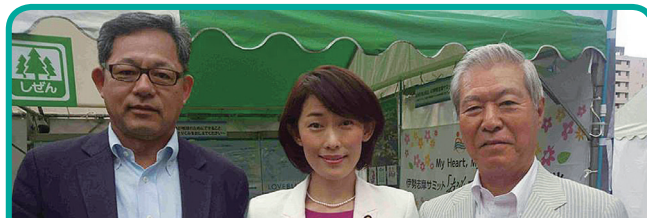


2016 年 5 月
三重県鳥羽市
木田久主一 市長 (当時)
を表敬訪問

左：三重県鳥羽市
木田久主一 市長 (当時)
右：当工業会 島野容三 会長



2015 年 6 月
環境大臣より感謝状を頂く
右：環境省 小林正明
事務次官 (当時)
左：小島忠雄
LOVE BLUE 委員長



2016 年 6 月 エコライフ・フェア 2016 丸川珠代 環境大臣 (当時) ブース来訪
中央：丸川珠代 環境大臣 (当時) 左：大村一仁 副会長 右：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2015 年 7 月 茨城県酒沼のラムサール条約登録に貢献



2016 年 7 月 第 36 回全国豊かな海づくり大会～やまがた～と連携



2015 年 9 月 徳島県の小学校で環境教育授業を実施



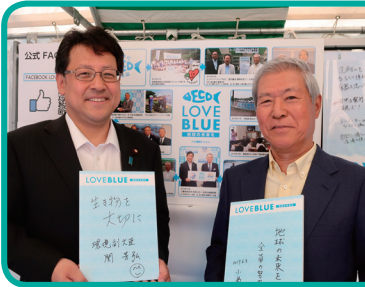
2017 年 1 月 環境省 小林正明 事務次官 (当時) を表敬訪問
中央：小林正明 事務次官 (当時) 左から松下和夫 京都大学名誉教授、
大村一仁 副会長、島野容三 会長、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2017年5月 茨城県龍ヶ崎市 中山一生 市長を表敬訪問
左：中山一生 市長 右：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



2018年12月 山形県鶴岡市・三瀬保育園にて、クロダイ放流体験を通じた劇「LOVE BLUE～クロダイのこども達の冒険」を実施。



2017年6月
エコライフ・フェア2017
関芳弘 環境大臣(当時)
ブース来訪

左：関芳弘
環境副大臣(当時)
右：小島忠雄
LOVE BLUE 委員長



2019年6月 原田義昭 環境大臣(当時)を表敬訪問
左から:大村一仁 副会長、松下和夫 理事、原田義昭 環境大臣(当時)、島野容三 会長、小島忠雄 顧問、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事



2017年9月 第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～と連携



2021年3月 鹿児島県 塩田康一 知事を表敬訪問
中央：塩田康一 鹿児島県知事
中央右:前田かおる(公財)かごしま豊かな海づくり協会 事務局長(当時)
中央左：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長
最右：小松智昭 専務理事 最左：柿沼清英 理事



2017年9月 徳島県の小学校で環境教育授業を実施



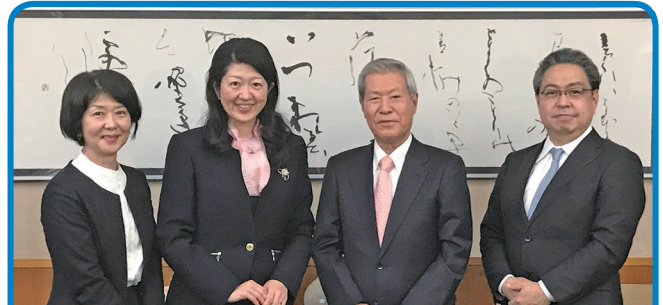
2021年3月 (公財)かごしま豊かな海づくり協会理事会
右から：(公財)かごしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長、鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、柿沼清英 理事



2018年9月 茨城県 大井川和彦 知事を表敬訪問
右から：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、大村一仁 副会長、大井川和彦 茨城県知事、島野容三 会長、加藤誠司 副会長、柿沼清英 理事



2018年10月「第17回世界湖沼会議いばらき霞ヶ浦2018」にて、小島忠雄 LOVE BLUE 委員長が講演。



2021年3月 鹿児島県 中村かおり 副知事(当時)へ表敬訪問
中央左：中村かおり 鹿児島県副知事(当時)
最左：前田かおる(公財)かごしま豊かな海づくり協会 事務局長(当時)
中央右：小島忠雄 LOVE BLUE 委員長
最右：柿沼清英 理事

LOVE BLUE TOPICS I

鹿児島県 塩田康一 知事へ表敬訪問

～ 錦江湾へのマダイ種苗生産・放流 三十一万五千尾 (三箇年)・

LOVE BLUE 事業 実施協力への御礼に～

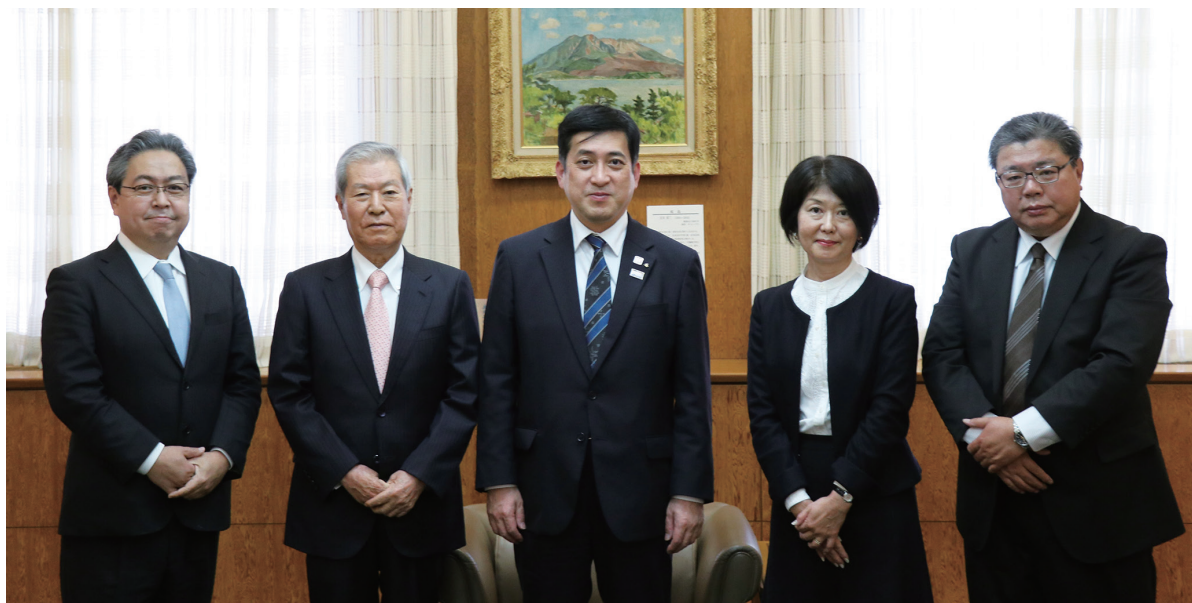
2021年3月24日 鹿児島県知事室

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の優先三事業の中で、専門機関と連携した放流事業は(公社) 全国豊かな海づくり推進協会を通じて、2018 年度から全国へ事業協力の依頼を行っています。鹿児島県では(公財) かがしま豊かな海づくり協会から LOVE BLUE 事業としてマダイ種苗生産、放流実施を行いたいとのご要望をいただき、2018 年度から 2020 年度まで、鹿児島県内遊漁船団体の皆様などのご協力もいただきながらマダイの放流を実施しています。

また、水中クリーンアップ活動についても鹿児島県からのご理解とご協力を頂くと共に、鹿児島県漁業協同組合連合会からのご要望をもとに 2016 年から実施を続けています。

これを受け、2021 年 3 月 24 日、鹿児島県での LOVE BLUE 事業実施へのご協力の御礼と今後のさらなる関係構築に向け、(一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長(同会顧問) らが、鹿児島県 塩田康一 知事への表敬訪問をはじめ、中村かおり 副知事(当時) 並びに、(公財) かがしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長、鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長へ訪問を行いました。

この日、(公財) かがしま豊かな海づくり協会は鹿児島県水産会館にて理事会を開催さ



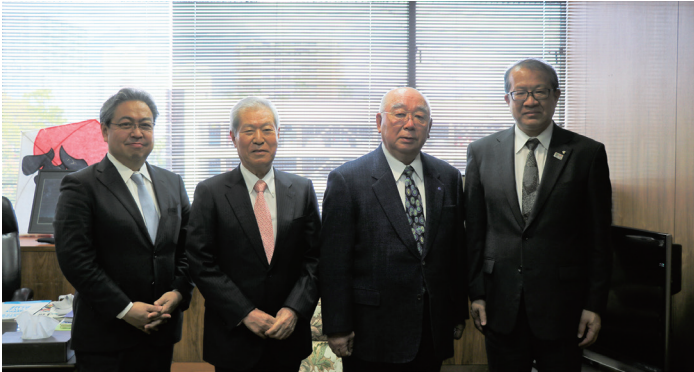
中央 塩田康一 鹿児島県知事、中央右 前田かおる (公財) かがしま豊かな海づくり協会 事務局長 (当時)

中央左 (一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、最右 同会 専務理事 小松智昭、最左 同会 理事 柿沼清英

LOVE BLUE TOPICS I

(公財) かごしま豊かな海づくり協会理事会

2021年3月24日 鹿児島県水産会館



右から (公財) かごしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長、鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長、(一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、同会 理事 柿沼清英

れ、その席上、小島委員長から「LOVE BLUE 事業の目的は、自然環境の保全・持続が根底にあり、水中清掃活動から歩みを始め、放流事業にも取り組ませて頂いております。魚族資源は化石燃料とは異なり海洋環境保全や資源増殖などの努力を重ねることで豊かな恵みとしての持続につながります。その一助として、鹿児島県で LOVE BLUE 事業

をご活用いただいたことへ心より御礼申し上げます。」と挨拶がありました。

鹿児島県漁業協同組合連合会 野村義也 会長からは、「豊かな海が大事です。長く漁師をやっているので資源が少ない実感があり、鹿児島でのマダイ放流は本当にありがたい。心から感謝しています。」との御礼があり、(公財)



右から塩田康一 鹿児島県知事、(一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長

かごしま豊かな海づくり協会 五田嘉博 理事長からも「鹿児島ではマダイは豊かな海の象徴です。また機会がありましたら、是非、鹿児島県でのマダイ放流を LOVE BLUE 事業で支援して頂きたい。」とのご要望がありました。

また同日夕刻、鹿児島県庁知事室にて、塩田康一知事へ、(一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE



終始、和やかな懇談となりました。

LOVE BLUE TOPICS I

鹿児島県 中村かおり 副知事 (当時) へ表敬訪問

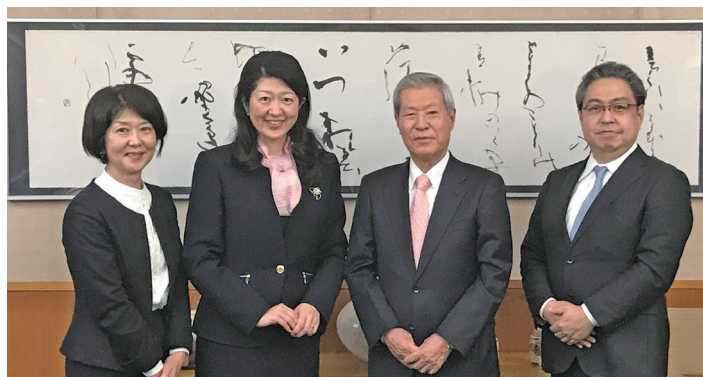
2021年3月24日 鹿児島県庁副知事室

委員長と同会 小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事が表敬訪問を行いました。

冒頭、小島委員長は「本日は大変お忙しい中、このような機会を賜り誠にありがとうございます。私どもが社会貢献事業として取り組む LOVE BLUE 事業を鹿児島県内ではプロダイバーによる水中クリーンアップ活動と共に、錦



中央 中村かおり 鹿児島県副知事 (当時)、左 前田かおる (公財) かがしま豊かな海づくり協会 事務局長 (当時)
右 (一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長



中央左 中村かおり 鹿児島県副知事 (当時)、最左 前田かおる (公財) かがしま豊かな海づくり協会 事務局長 (当時)、中央右 (一社) 日本釣用品工業会 小島忠雄 LOVE BLUE 委員長、最右 同会 柿沼清英 理事

江湾内へのマダイ放流をご活用頂き心より感謝致しております。」と話し、併せて、釣り人の皆様が釣り用品を購入いただいた売上げの一部を財源として、釣り界を挙げての取り組みであることや、これまでの鹿児島県内での放流実績などの報告を行いました。

塩田知事からは、鹿児島県内での LOVE BLUE 事業実施への御礼とともに、2020 年度の放流現地に訪れたこと、自主財源での実施や漁港や港湾等での清掃活動へも関心が示され、釣りについても「今年も行ったんですが釣果が振るわず、漁師にはなれませんね (笑)」など、終始和やかな懇談となりました。

その後、中村かおり副知事との懇談の機会があり、中村副知事からは「本日のようにご来訪頂くことで、県としても県内からの視点ではなく、外から見た鹿児島の価値を再認識する機会となります。その意味でもご来訪頂き心から御礼申し上げます。是非ともまた鹿児島県を宜しくお願い致します。」との感謝のお言葉をいただきました。

これからも、LOVE BLUE 事業は釣りの未来を拓くため、全国各地の皆様喜んで頂けるよう、着実に取り組みを進めて参ります。

LOVE BLUE TOPICS I

環境省主催 エコライフ・フェアに出展

2020年12月19日～2021年1月17日 バーチャル

LOVE BLUE 事業は、毎年環境の日（6月5日）の近辺の土曜日及び日曜日に東京都渋谷区の代々木公園にて、環境省が主催する、エコライフ・フェアに2015年から毎年出展しています。本年度は新型コロナウイルスの影響でバーチャルでの実施になりましたが、「つりの楽しさが広がることで水辺環境の向上につながります」をテーマに、これまでの社会貢献活動としての実績をPRしました。



94,991PV と、とても多くの方に見て頂くことができました。

水中クリーンアップ活動 沖縄県 読谷村漁業協同組合と連携

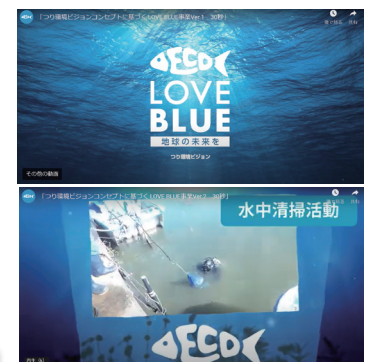
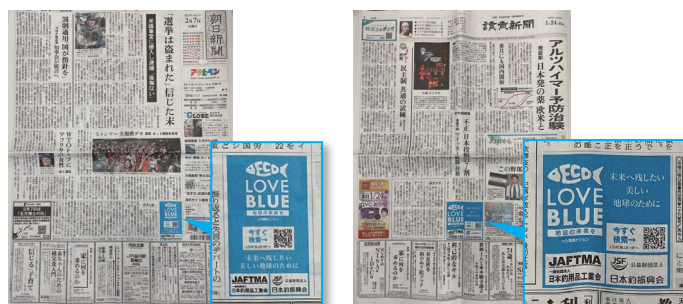
2020年12月1日～3日 都屋漁港水中清掃実施

12月1日から3日まで沖縄県読谷村都屋漁港で行われたプロダイバー水中クリーンアップ活動は、初日に読谷村漁業協同組合の陸上清掃、翌日には同組合主催の「ピクニック」というイベントと連携して実施いたしました。このイベントは毎月第3日曜日に開催され、高校生以下は無料で食事が出来る他、ウミガメに触れられる体験等もあり、地元の方のみならず、沖縄県下の方々が集まるイベントです。イベント当日は沖縄県漁業協同組合連合会の職員の方も視察にお越しいただき、水中クリーンアップ活動に対して、とても温かいお言葉をいただきました。



LOVE BLUE 事業周知広報

2020年度はYouTube CMはじめ、朝日新聞・読売新聞の全国版一般紙の朝刊に小型広告を3回掲載致しました。来年度も多くの方にご理解いただけるよう、YouTube CMと朝日新聞・読売新聞などで周知広報を実施して参ります。



水中クリーンアップ活動

～全国に広がる感謝の輪～

私たち釣り人は世界中の水辺から恩恵を授かっている社会の一員です。その豊かな水辺を守る活動の柱としての取り組みが、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動です。

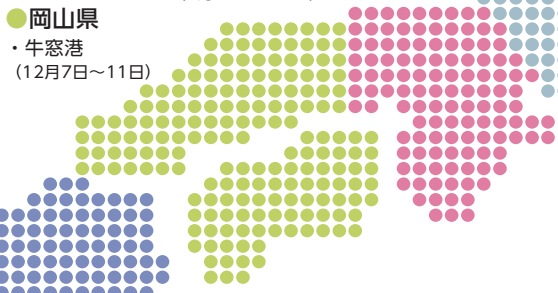
LOVE BLUE では全国を7ブロックに分け、公平性や透明性等を踏まえ、都道府県や市町村、港湾管理者、漁業者等の皆様からご要望を頂きながら実施しています。

効率の良い作業や安全性の為、プロダイバーが実施する水中クリーンアップ活動では、陸上スタッフとの常時無線交信設備を装備しながら、万全の安全管理を徹底しながら作業をしています。また、必要に応じて、法令に基づいた許可申請や周知等、地域のご関係先としっかりと連携しながら進歩し、回収したゴミは産業廃棄物として適切に処分しています。

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は 2013 年度の事業開始より 2020 年度に至るまで、8 年間累計 34 道府県 253 箇所 1009 日実施しています。

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	
<中部・北陸地方：19日>			4	17	41	168	39	150	37	150	40	145	34	134	37	133	24	109	
中部・北陸	愛知県	三河湖	1	3	5	22	6	20	5	17	5	22	4	18	4	17	4	19	
		入鹿池	1	3															
	富山県	六渡寺海岸	1	4	1	3	1	3											
		黒部漁港									1	5	1	5	1	4	1	5	
	石川県	名舟漁港			1	3	5	1	3										
		富米漁港			1	5	1	3	1	3									
		安宅漁港			1	5	1	3	1	3	1	5	1	5					
		前波漁港					1	3	1	3									
		金沢港													1	3			
	福井県	金沢港金石地区船溜																1	5
東尋坊・崎漁港										1	5	1	5	1	5				
岐阜県	梶漁港																1	4	
	長良川									1	4								
	東大江川											1	3	1	5	1	5		
<中国・四国地方：15日>			0	0	5	23	5	15	5	17	5	14	4	14	4	15	4	17	
中国・四国	香川県	松山漁港			1	5													
		土庄港					1	3											
		要望箇所																	
	徳島県	那佐港			1	3													
		由岐漁港					1	3	1	3									
		日和佐港									1	3							
		椿泊漁港												1	4				
		亀浦漁港(八木の鼻地区)														1	4		
	愛媛県	亀浦漁港																1	5
		佐田岬漁港			1	5	1	3	1	3									
		三机港			1	5	1	3	1	3	1	3							
	鳥取県	松山港(高浜地区)			1	5	1	3	1	3	1	2							
		九丁漁港											1	4	1	4			
	高知県	田之浦漁港																1	3
		境港							1	5									
宇佐漁港										1	3	1	3	1	4	1	4		
岡山県	牛窓港									1	3	1	3	1	3	1	5		
<九州・沖縄地方：15日>			0	0	5	25	5	16	5	21	5	15	4	14	4	14	1	3	
九州・沖縄	佐賀県	唐津港			1	5	1	3											
		伊万里港			1	5			1	3	1	3							
	長崎県	館浦漁港			1	5	1	3											
		薄香湾漁港					1	2											
		生月漁港							1	3	1	3							
	熊本県	長崎港											1	4	1	4			
		八代港			1	5	1	3											
	沖縄県	名護漁港			1	5	1	5	1	5	1	3	1	3	1	3			
		都屋漁港																1	3
	大分県	別府港							1	5									
		吹浦漁港									1	3	1	3	1	3			
	鹿児島県	山川漁港							1	5									
		枕崎漁港									1	3	1	4	1	4			

- 滋賀県
 - ・ 堅田漁港 (10月20日～24日)
 - ・ 宇曾川漁港 (11月9日～11日)
 - ・ 沖之島漁港 (11月12日～13日、11月17日～18日)
 - ・ 瀬田舟溜 (10月27日～31日)
 - ・ 磯漁港 (11月3日～7日)
- 京都府
 - ・ 浅茂川漁港 (7月15日～19日)



- 岡山県
 - ・ 牛窓港 (12月7日～11日)
- 愛媛県
 - ・ 田之浦漁港 (11月21日～23日)
- 高知県
 - ・ 宇佐漁港 (11月25日～28日)
- 徳島県
 - ・ 亀浦漁港 (12月1日～5日)

- 沖縄県
 - ・ 都屋漁港 (12月19日～21日)

Voice 水中クリーンアップ活動

～これまでの水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～

宮城県 水産林政部 全国豊かな海づくり大会推進室 技術主査 鈴木隆史さん

2019年10月5日～8日、10月10日～12日 石巻漁港水中清掃実施

宮城県石巻市石巻漁港にて実施した水中クリーンアップ活動が、同漁港にて開催される「第40回全国豊かな海づくり大会～食材大国みやぎ大会」の協賛行事としてご承認いただきました。令和2年開催に向けて、令和元年からプレイベントから実施をしていただきたいと宮城県全国豊かな海づくり推進室からご要望をいただき、実施致しました！ご要望元の宮城県全国豊かな海づくり推進室からは「私たちでは水中のごみに手を付けることが出来ませんでした、今回実施していただき、とても感謝しております。本番は来年になりますが、是非、よろしく願います！」と感謝のお言葉をいただきました。



茨城県 クリーンアップひぬまネットワーク 谷萩八重子さん

2019年7月13日 涸沼水中清掃実施

2015年に、貴重な湿地や固有種等が生息する場所として「ラムサール条約登録湿地」となった茨城県涸沼。例年、海の日前後に、流域市町が連携して実施している陸上清掃イベント「ひぬま流域クリーン作戦」では、クリーンアップひぬまネットワーク事務局よりご要望頂き、LOVE BLUE 事業の水中クリーンアップ活動も連携して実施しています。

同ネットワーク・谷萩八重子会長からは「私たちでは出来なかった水中の清掃を LOVE BLUE 事業が取り組んでいただけたおかげで、涸沼はラムサール登録湿地となれました。本当に感謝しております。ありがとうございます！」とのお言葉をいただきました。



茨城県 土浦市 市長 中川清さん (当時)

2018年3月4日～8日 額賀船溜水中清掃実施

国内第2位の面積を持つ湖・霞ヶ浦。その流域 24自治体が連携して取り組む陸上清掃イベント「第91回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」と連携し、水中クリーンアップ活動を実施致しました。主催者である「霞ヶ浦問題協議会」会長でもある中川清土浦市長(当時)からは「いつも霞ヶ浦の水をキレイにする為に、水中クリーンアップ活動を実施していただき、ありがとうございます！」とお喜びの声をいただきました。



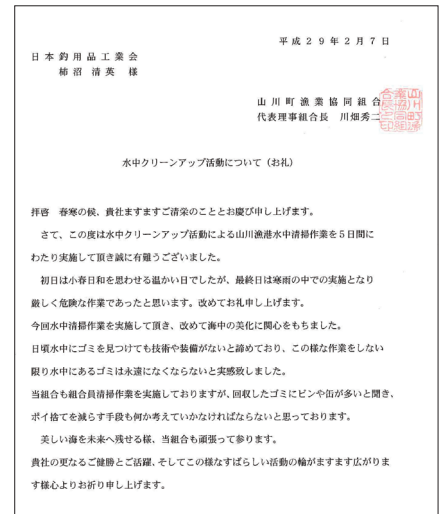
Voice 水中クリーンアップ活動

～これまでの水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～

鹿児島県 山川漁業協同組合 代表理事組合長 川畑秀二さん

2017年2月1日～5日 山川漁港水中清掃実施

今回水中清掃を実施して頂き、改めて海中の美化に関心を持ちました。日頃水中にごみを見つけても技術や装備がないと諦めており、この様な作業をしない限り水中にあるゴミは永遠に変わらないと実感しました。当組合も組合委員清掃作業を実施しておりますが、ポイ捨てを減らす手段も何か考えていかなければならないと思っております。美しい海を未来に残せる様、当組合も頑張ってお参ります。(御礼状抜粋)



三重県 熊野漁業協同組合 理事 山下眞次さん

2016年5月10日～14日 二木島港水中清掃実施

「二木島港は湾の奥やから、流されてきたゴミが溜まりやすいんでね。僕らも岸壁の上は掃除するけど、海の中は専門の技術や装備がいるし、お金もかかるし、自分らではできないでしょう。だから、みんな『ありがたい』と言っているよ。水中クリーンアップ活動が始まって一番びっくりしたのは、作業員さんたちがみんな礼儀正しいこと。誰かが通るたびに丁寧に挨拶してくれるから、ここの若い子らもみんな関心しとったよ。」



山形県漁業協同組合 念珠関統括支所 総括支所長 佐藤修さん

2016年6月28日～7月2日 鼠ヶ関港水中清掃実施

本格的な増備で、無料でしかもゴミの処分までしてもらえる。こんなありがたい話が本当にあるのかと思っておりました。でも、実際清掃に入ってもらって、こちらの要望通りに作業をしてもらえると、何よりも作業員の方々は礼儀正しいし、いつも気持ちの良い挨拶をしてくれる。本当にありがたいと思っています。



地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成

～全国に広がる感謝の輪～

地球環境基金企業協働プロジェクト・LOVE BLUE 助成とは

地球環境基金が行う支援活動の中で、特定の活動に対して支援したい寄付者の「想い」を反映させたプログラムです。LOVE BLUE 助成は、(一社)日本釣用品工業会より LOVE BLUE 事業の一環として、寄付した資金を基に、清掃活動など、水辺の環境を構築するための助成金となっております。

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金とは環境庁(現・環境省)中心となっており、民間団体(NGO・NPO)による環境保全活動への資金の助成その他の支援を行うため、1993年5月に創設されました。

LOVE BLUE助成団体

2020年度

東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
鹿児島県	NPOくすの木自然館
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
山形県	NPOパートナーシップオフィス
宮城県	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
石川県	NPO能登半島おらっちゃん里山里海
東京都	DEXTE-K
香川県	NPOアーキペラゴ
神奈川県	一般社団法人スピリット・オブ・セイラーズ

2015年度

香川県	NPO アーキペラゴ
群馬県	NPO 浅間・吾妻エコツーリズム協会
東京都	NPO 荒川クリーンエイド・フォーラム
岐阜県	NPO いびがわみずみずエコステーション
香川県	海守さぬき会
東京都	(一社) JEAN
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2016年度

島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわみずみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
広島県	NPO 自然環境ネットワークSAREN
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

2017年度

島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわみずみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島

2018年度

沖縄県	美ら海振興会
島根県	NPO アンダンテ21
鹿児島県	くすの木自然館
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
兵庫県	神戸海さくら
熊本県	次世代のためにがんばる会
東京都	全国川ごみネットワーク
石川県	NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島

2019年度

東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO未来の荒川をつくる会
熊本県	次世代のためにがんばる会
鹿児島県	NPOくすの木自然館
長崎県	やったろうde高島
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
山形県	NPOパートナーシップオフィス
宮城県	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
石川県	NPO能登半島おらっちゃん里山里海

Voice 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成

～ LOVE BLUE 助成 2020 年度採択団体 日々の活動～

東京都

全国川ごみネットワーク

プラスチックごみ削減普及啓発プロジェクト

水辺のプラスチックごみ削減の普及啓発ツールとして、①川ごみビンゴカード、②啓発パネル(10枚組)、③説明ボード、④ごみ実物ボードを作成した。またその試行ごみ拾いを2回実施した。来年度の普及啓発に向け、小学校での出前講座の実施希望について、254校にアンケートを送付し、結果を得た。



水辺のごみ削減の普及啓発に向けたツールが充実した。今年度はコロナ禍において、活用の機会はほとんど無かったが、来年度以降に備えることができた。出前授業についても、それを望む小学校やその先生を抽出することができたので、来年度以降の効果的な実施が期待できる。

普及啓発ツールの貸し出しを積極的に行い、各地で水辺のごみの課題を知り、削減行動ができる人を増やす。またツールの改善や活用方法の検討などを行い、さらに活かされ、普及されることを目指す。出前授業については、各先生のニーズを知り、合わせた内容や教材を用意して臨む。



座長 亀山 久雄さん

兵庫県

NPO 神戸海さくら

須磨海岸における地域住民および海岸利用者の参加型清掃活動とマナー意識向上による持続的な環境保全活動

毎月1回のゴミ拾い12回と、海水浴場開催期間に該当する42回を合わせて、計54回のゴミ拾いを行い、延べ941人が参加しました。また、専門家による啓蒙セミナーを2回開催しました。神戸市内の公立中学校二校と兵庫県「トライやる・ウィーク」の一環として、協働で須磨海岸清掃を実施しました。



神戸市環境局主催「ぼくらは海のちょうさ隊」という海洋ごみ問題に対する啓蒙活動に協力団体として参画し、海洋プラスチックごみの回収に協力しました。なお今年度は、新聞4回、テレビ放送1回のメディアに取り上げられ、さらには、国土交通省海事功労者等表彰にて近畿地方整備局長表彰を受賞しました。

海洋プラスチック問題が今、世界的な注目を浴びています。ひとたび海に流れたゴミは回収することが非常に困難となることから、水際でゴミの海への流入を防ぐ私たちの活動は、益々重要になってくると思います。大都市における海洋環境保全のロールモデルになればと思います。



理事長 森口 智聡さん

鹿児島県

NPO くすの木自然館

鹿児島湾奥地域における湿地帯保全活動

3カ年の最終年度となる今年度は、新型コロナウイルス拡大対策のため、計画していた清掃活動や啓発活動は行うことができなかった。コロナ禍終息後を見越しての啓発教材を作成するため、主に湿地帯の環境指標となる、湿地帯周辺に生息する鳥類や底生生物相の把握を行った。



昨年度末から今年度にかけては、当法人の主催事業の実施も困難となった中、LOVE BLUE 助成のおかげで調査研究の分野では安定して事業を行うことができた。また、公的な助成を受けての活動であると説明をすることで、湾奥周辺地域での調査中も、社会的な信頼を背景に活動することができた。

コロナ禍が終息し、団体での清掃活動や啓発活動が再開できるようになった際は、これまでに収集できた知見や作成した教材を活かして、今年度行えなかった清掃活動、啓発活動を、地域のコミュニティ協議会や自治会の方々と行いたい。



専門研究員 小野田 剛さん

福岡県

宗像フェス CSR 推進実行委員会

日韓海洋プラスチックリサイクル環境学習事業

宗像フェスCSR推進実行委員会では、音楽フェスを通して、いかに社会性を追求して環境問題を解決できるかを目的に、行政、教育機関、民間企業とアライアンスを組んで活動しています。今年は、厳しい環境中でありましたが、リモートを駆使し日韓の双方で環境を考え海の環境を守る活動を行いました。



本事業に多くの学生や市民の受入れ人数に比例して、事業費が拡大するので折角の気持ちに応える事が出来ずにお断りする事がこれまでありました。LOVE BLUEの助成で、より多くの参加者で事業に望め、またこれまで以上に幅広いエリアでダイナミックに事業を展開する事ができました。

日韓それぞれで、環境問題の学習とフィールドワークを行う縛られた一年でありましたが、来年度は、これまでの事業に加え、オンラインを多用した学習と交流が出来る事で更に活動の可能性と戦略的な広報が出来ます。コロナ禍の一年が無駄ではなく、より効率的な事業展開ができます。



実行委員長 浜田 修一さん

Voice

埼玉県 NPO ジョイライフさやま

環境保全の大切さを伝える自然体験・地域交流の創出

コロナ禍の中計画していたプランが自粛、中止を余儀なくされましたが、その分来季の企画を考える時間が持てたこともあり、来季の少人数での事業プラン構想も話すことが出来たと思っています。漂流ごみによる海洋汚染を防ぐ河川事業や水辺周辺景観整備にも力を入れることが出来ました。



2020 年はコロナの影響により自粛中止を余儀なくされ環境学習を行うことが出来ませんでした。水辺の環境保全を志向する社会貢献事業を行っている LOVE BLUE と出会うことで水辺周辺の保全を目指す私たちにとって、河川管理を行う漁業協同組合との協働による事業や海洋汚染につながる漂流物を拾い河川清掃を目指すカヌー団体、川釣りを楽しむ団体などの交流ができた活動の幅ができたような気がしています。コロナ禍の今年は団体と出会いによる水辺周辺の清掃活動に力を入れることが出来ました。

他の団体との交流は環境保全の大切さを伝える自然体験、地域交流の創出を目標とする私たちにとって大きく躍進できる活動となと感じています。コロナ状況を鑑み、少人数での活動とはなるとは思いますが自然体験を交えた環境学習を行って行きたいと思えます。データの写真は協働による団体との水辺周辺清掃活動による写真です。不法投棄による川から引き揚げた家電、台風による残留物など 4.5 トンにも及びました。



理事 高杉 克江さん

山形県 NPO パートナーシップオフィス

大学生による海ごみ問題解決のためのクリーンアップとワークショップ事業

庄内地域の大学生を中心に 4 回にわたって約 100 人(7/9 22 名、9/14 - 15 14 名、11/13 35 名、3/15 - 17 24 名)と清掃活動を行い、海ごみを 665 袋(40L 袋換算)回収しました。



コロナ禍で公的機関主催の地域活動、学生活動が悉く中止になっていく中、民間のフットワークの軽さを活かして活動機会を作ることができました。本事業が、初めての課外活動、環境活動だたという大学生もいました。毎年清掃にお邪魔している遊佐町からは食料などの物品支援をいただき、活動が浸透してきていると感じます。

学生自ら、学内サークルを作り、他大学とのサークル同士の連携を取り始めています。大学生が自立的に活動を行う下地ができてきていると感じます。活動が続いていくように、側面的支援を自治体や行政と連携して続けていきます。



理事長 西村 修さん

宮城県 (公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

宮城の浜の海洋ゴミを減らそうプロジェクト

東日本大震災から復活した宮城県の海水浴場で、プラスチックをはじめとする海洋ごみの調査を行うとともに、市民に実態を伝え、ごみの排出抑制につなげるため、海岸での調査活動、宮城県主催の清掃活動の講師、仙台うみの杜水族館との連携による普及啓発イベントへの参加などを行った。



本助成のおかげで定期的な海岸調査活動が実現できた。また、弊団体が海洋プラスチック問題に真摯に取り組んできたことが周囲にも伝わり、宮城県・豊かな海づくり大会実行委員会主催の海岸清掃の講師に呼ばれたり、仙台市・せんだいメディアテーク主催の海洋ごみ関連展示の協力依頼を受けました。

コロナ禍で状況が変わったこと、一定の成果を上げたため、本事業申請は 2 年目の本年度で終えることとしたが、今後も定期的な海岸調査や清掃活動と、様々なステークホルダーと連携した海洋プラスチックごみ削減のための普及啓発活動を続けていきたい。



理事長 長谷川 公一さん

石川県 NPO 能登半島おらっちゃん里山里海

能登の里海環境・文化の持続可能性構築

世界農業遺産 (GIAHS) 認定の里海を、知って、守って、楽しむ、という観点から、コロナ禍の中でも事業を実施した。ミニ地引網による里海調査や海岸清掃活動には、市内小学生、その保護者など多くの市民の参加をいただいた。秋に開催した「釣り大会」には、コロナ禍での屋外体験という事もあり、過去最大の参加者(21 組、42 人)であった。冬には、初めて広い冬の海岸を歩く「里海ウォーキング」を実施した。



珠洲市内においても圧倒的に少なかった里海体験を実施することができた。市内小学校からの参加依頼や観光関係者からの問い合わせなど、改めて能登の里海の魅力を実感した。季節ごとの海岸周辺の海藻の量や冬の海岸の広さなど、海水浴以外に波打ち際まで足を運ぶことが少なくなった市民に里海の魅力を伝えることができた。

世界農業遺産認定 10 年の節目を踏まえ、これまで実施してきた里海保全活動の継続のほか、市民や観光客に「里海」をより身近に感じてもらうための魅力的な体験プログラムを NPO 自身が楽しみながら継続し、最終的には里山里海の繋がりによる奥能登珠洲の魅力を発信する。



専務理事 金田 直之さん

Voice

東京都

DEXTE-K

西なぎさ発～東京里海エイド(ラムサール条約に登録された葛西干潟における漂着ごみ収集を中心とした保全活動)～

- 参加者総数：172名（内子ども：16名）
- 漂着ごみ総数：45リットルゴミ袋×92袋
- 粗大ごみ：28
- 参加企業：4社（エコー電子工業、国際ロータリー第2580地区ローターアクト、トーセイ、TOTOグループ、ジブラルタ生命保険、日本郵政グループ労働組合）



WEB構成を更新することができ、カテゴリ別にSDGs関連の情報を発信することが可能となった。またエドがわエコセンターとの共催により12月に木村尚氏を招いて「エコアクション講座」を実施することができ、地元地域の市民へ当該活動エリアの環境保全意識向上の手応えがあった。

フィールド活動以外にオフフィールド活動にもシフトしていき、当該活動の西なぎさのみではなく東京湾の美化に繋がる活動をしていきたいと考えている。またそのためには、関係諸団体や市民をはじめとする多くのステークホルダーとの連携、および一層の情報発信が必要と考えている。



DEXTE-K 橋爪 慶介さん

香川県

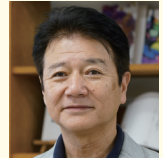
NPO アーキペラゴ

瀬戸内海を美しくするためにはじめる身近な川ごみ調査

瀬戸内海に流入するごみの66%が陸域由来と考えられている。そこで、陸域から海へ流入する経路の河川に目を向け、川ごみ調査と川ごみマップ作成を行った。調査により判明したごみが多く溜まる場所で効率的なごみ回収活動やマップ（見える化）によるごみ発生抑制につなげる啓発活動を行った。また、ごみ削減に向けて流域住民と川ごみ調査の意見交換を行った。



- ・高松市の河川における川ごみの状況を知ることができ、多くごみが溜まる場所で回収活動が行えた。
- ・ごみの溜まる場所は行政とも共有して、行政主催の川ごみ・海ごみ回収活動がこれらの場所で行われている。このことから、我々以外の活動にも広がりを見せている。
- ・川ごみマップが作成（Web版、紙版）でき、環境学習やごみ発生抑制の呼びかけ資料として活用できる。
- ・高松市域における川ごみ調査であったため、範囲を拡げて他の河川でも調査を行う。
- ・本事業で判明したごみが多く溜まる場所でクリーンアップの定期的な実施。
- ・環境団体や行政から川ごみ調査の方法や内容について問い合わせがきている。今後、ノウハウを提供し、他団体とも協力してごみの発生抑制、回収活動に取り組む。



理事長 三井 文博さん

神奈川県

(一社)スピリット・オブ・セイラーズ

Ocean College ～海を学び、地球を感じる体験～

自然環境と自分たちの行動について考える機会となるオンライン動画を毎月配信。「水辺の自然環境教育 Project Wild」を題材に海ゴミ・海洋プラスチック・水の汚染を中心とした問題をオンラインで考えながら学べる機会を作った。また、海を守るためのゴミ拾いをオンラインで毎週実施。参加者がそれぞれの居住地の近くで清掃活動を行い、その様子や感想、拾ったゴミの量をSNSにアップして全国でゴミ拾いの輪を広げていった。（どちらの活動もコロナウィルス感染対策に配慮した手段とした）



動画視聴回数 950回 [協力団体：Project Wild（一般財団法人 公園財団）] 清掃活動参加者数 80人。東京・神奈川・岡山・愛知でのゴミ拾い。集めたゴミの量 122kg。（2021年2月現在）拾った海洋プラスチックゴミの一部がアクセサリーにアップサイクルされた。[協力団体：カエルデザイン with リハス（株式会社クリエイターズ）]

海洋体験活動に参加する人やプレジャーボートに乗る人が発見したゴミを拾うようになる為に、船にて参加者の方と漂流ゴミ・漂着ゴミの清掃を行い、地球環境と自分たちの行動について考える活動を行う。また、今年度に引き続きオンラインを通じた清掃活動を行う。



代表理事 山本 海さん

専門機関と連携した放流事業

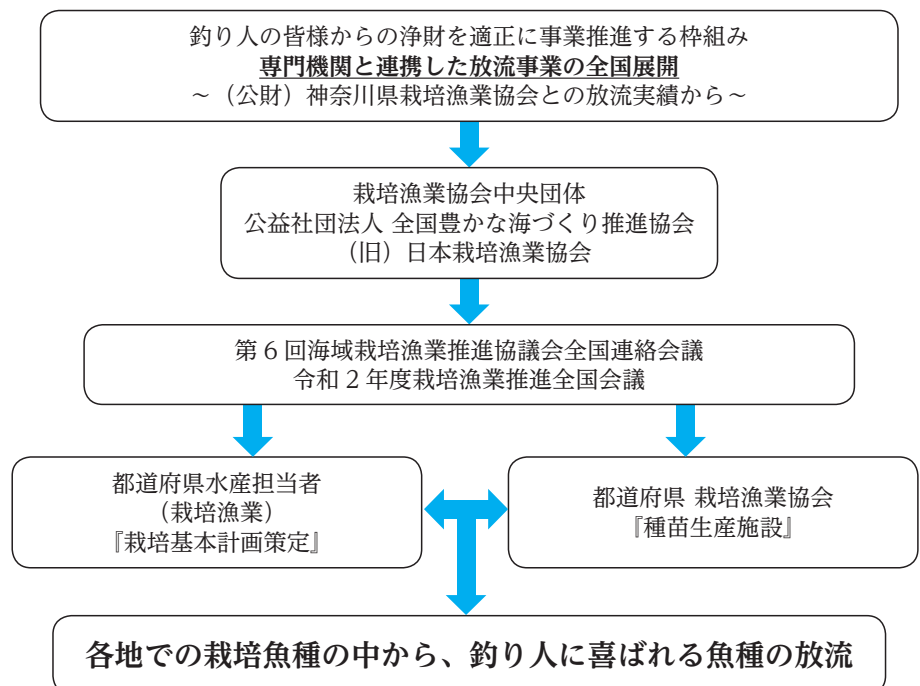
～放流事業の全国展開～

2013年4月の事業開始より2017年度まで、専門機関と連携した放流事業として、公益財団法人神奈川県栽培漁業協会へ事業委託し、釣り人の皆様に喜んで頂けるよう、毎年マダイ稚魚を神奈川県側の東京湾へ20万尾（5年間累計100万尾）放流すると共に、漁獲・釣獲の面から放流効果調査も進めて参りました。

この公的栽培機関と連携した5年間の放流事業の実績から「一定の海域・資源量を基礎にした放流量の指針」を得るとともに、栽培養殖に係る公共機関との信頼関係を醸成することが出来ました。このような背景を基礎に2018年度から、全国各地の公的栽培機関と連携・協力体制を構築しながら、一定の海域・資源等も踏まえた『釣り人の皆様に喜んで頂ける、釣りに利活用出来る魚種』の放流を各地で進めて参りたいと考えました。

そのため、まずはこれまでの実績と信頼関係を基に、2017年度内に栽培漁業に関する中央団体である「公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会」へLOVE BLUE事業へのご協力を依頼させて頂き、そして2018年1月30日に開催された、第3回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議・平成29年度栽培漁業推進全国会議以降、毎年度、2020年度は2021年1月29日に、各都道府県の水産担当者や栽培機関の方々へ、LOVE BLUE放流事業へのご協力をお願いをさせて頂いています。

第6回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議 LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業へご協力を依頼



専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

LOVE BLUE 事業が実施する「専門機関と連携した放流」事業は、2020年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

青森県 (ヒラメ15万7100尾)

7月20日、21日 9月15日



山形県 (クロダイ1万8880尾)

10月7日



専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

LOVE BLUE 事業が実施する「専門機関と連携した放流」事業は、2020年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

秋田県

(ヒラメ3万2105尾・マダイ2万220尾・クロソイ2万尾)

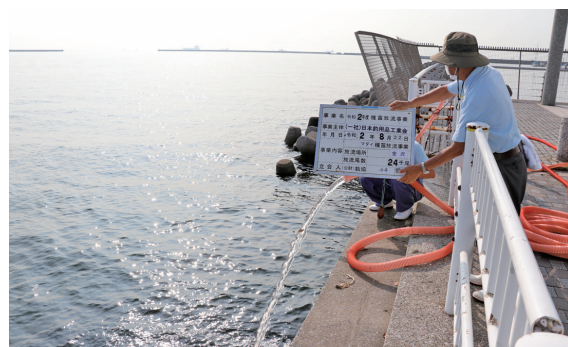
7月23日、9月4日



神奈川県

(マダイ9万8000尾・カサゴ5000尾)

8月22日、25日、28日



専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

2020年度 1府10県9魚種 735万6305尾

新潟県 (ヒラメ8万尾)

6月30日、7月3日、8日、9日、14日、15日、16日、28日、29日、30日



累計 8年間 935万4155尾

静岡県 (マダイ3万尾・ヒラメ3万尾)

6月2日、7月30日、31日



専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

LOVE BLUE 事業が実施する「専門機関と連携した放流」事業は、2020 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

滋賀県

(ホンモロコ400万尾・ゲンゴロウブナ250万尾)

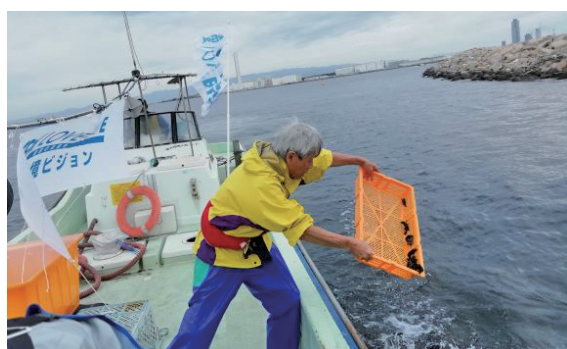
5月9日、10日、13日、15日、18日、19日、20日、22日、25日、26日



大阪府

(キジハタ1万尾)

10月22日



専門機関と連携した放流事業

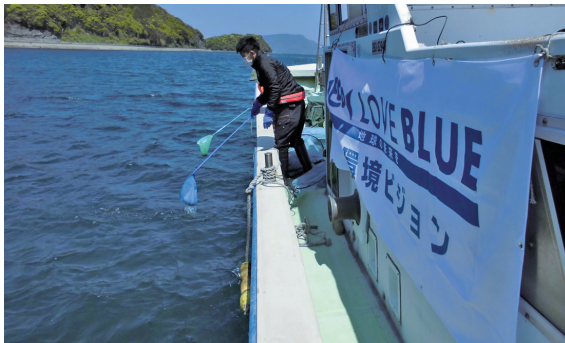
～各地の放流状況～

2020年度 1府10県9魚種 735万6305尾

熊本県

(カサゴ7万6800尾・イサキ7万6800尾)

4月16日、24日、8月19日、22日



累計 8年間 935万4155尾

大分県

(ヒラメ4万4200尾・イサキ5万6200尾)

7月2日、9日、9月16日



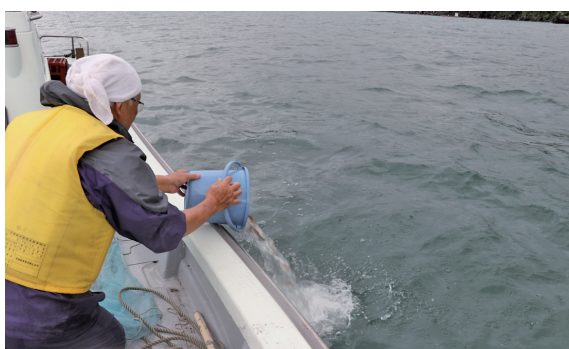
専門機関と連携した放流事業

～各地の放流状況～

LOVE BLUE 事業が実施する「専門機関と連携した放流」事業は、2020 年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

鹿児島県 (マダイ10万1000尾)

7月26日、29日



2020年度 1府10県9魚種 735万6305尾

累計 8年間 935万4155尾

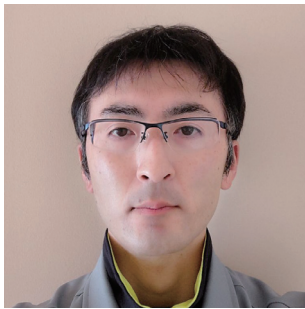


専門機関と連携した放流事業

～放流事業にご協力頂いた皆様からの感謝の声～

公益社団法人
青森県栽培漁業協会

栽培部長 葛西浩史 さん



ヒラメは、本県では全海域で漁獲される高級魚で、県の魚にも指定されています。ヒラメ栽培事業は平成2年度から開始され、令和2年度で30周年となりましたが、ヒラメ漁獲金額からの定率負担金、漁業団体、市町村、県が造成した基金の運用益を財源としたヒラメ稚魚の大量放流（年間目標200万尾）、資源管理（全長制限等）を行ってきたところ、平成元年に200トン程度まで落ち込んでいた漁獲量が平成7年以降1千トン程度の年が増え、漁獲量日本一の年も多く、全国モデルとして高く評価され、多くの釣り客にも喜ばれてきましたが、事業開始直後のバブル経済崩壊や韓国産養殖ヒラメの増加に伴う魚価低迷、低金利の影響により、事業収支は厳しくなる一方でした。

このような中、LOVE BLUE 事業により、本県において、ヒラメ稚魚放流が平成30年度から3年間実施されたことは誠に意義深く、種苗生産機関の担当者として大きな喜びを感じており、深く感謝申し上げます。

当協会ではヒラメの他にも、釣りで人気の高いアイナメやキツネメバル（マゾイ）の種苗生産も行っており、今後もよろしくお願いますとともに、漁業、遊漁に関する皆様の連携により、多くの恵みをもたらす豊かな海づくりが進むこと、一般社団法人日本釣用品工業会のさらなるご発展を祈念いたします。

公益財団法人
山形県水産振興協会

栽培部長 余語滋 さん



江戸時代より、ここ庄内浜では武士の鍛錬の一つとして磯釣り（特にクロダイ釣り）が推奨され、「庄内竿」と呼ばれる地域特有の釣り竿まで存在する歴史的な釣り文化がある土地です。

この度は、LOVE BLUE 事業を活用させていただける機会を頂き、クロダイ稚魚の放流を行えたことは、遊漁者や釣具店への恩恵があっただけではなく、放流に参加した各地域の児童や園児達は、放流を通じて海の環境保全の大切さや、命に対しての慈しみや思いやりを知ると共に、この地域に根付いている釣り文化の歴史を知る機会にもなったようです。

そして、放流に目を輝かせて参加している児童や園児達の姿を見ると、この放流体験の意義を改めて感じると共に、このLOVE BLUE 事業を活用させて頂いたことに感謝申し上げます。



専門機関と連携した放流事業

～放流事業にご協力頂いた皆様からの感謝の声～

秋田県
つり連合会
会長 佐藤進 さん



この放流についてはとても喜んでますよ。ありがたくてありがたくて、うちのところは会費でやっている放流だから数が少ない。だいたい4000尾とか購入して、8年やって8万5000尾くらいしかいってないんだよ。だから、少ないもんだから、ありがたいですよ。いつでもご協力致します。話が最初に（公財）秋田県栽培漁業協会理事長中村さん（当時）から来た時、とてもうれしかった。救いの手が来たと思った。ずっと続けて欲しい。



公益財団法人
秋田県栽培漁業協会
事務局長 齋藤寿 さん



放流事業はとんでもなく助かってます。うちの方は種苗生産をして、放流をして、水産資源の増殖を図ろうしているので、やっていますが、今までは、漁業者が主体になって、漁業の為にというイメージ、それがウエイトが高いんですけども、それ以外に遊漁の方ですとか、海に親しみを持っている方とかいるわけですから、そういう方たちへの親しんでもらう為のきっかけとしては非常にありがたいと思いますし、端的に栽培協会の経営的な部分もお助けいただいて、是非継続していただければと思います。県内の別のところでも LOVE BLUE の放流の話が出てくれば私どもでも対応を考えていければと思います。漁業者からのニーズは漁協から取りやすいが、遊漁者のニーズは難しいですが、（公財）日本釣振興会だったり、秋田県つり連合会さんが放流作業に協力していただいているのは大変助かっております。本当にありがとうございます。

水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～内水面釣り場拡大（ワカサギ）は、2020年度は5団体を採択～

本事業は水産庁ご後援のもと、国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 内水面研究センターや、全国内水面漁業協同組合連合会から、LOVE BLUE 事業へご理解とご協力を頂きながら、2017年度から始まりました。2020年度には全国累計18団体へと支援させて頂きました。

この事業は、ワカサギ卵供給にかかる初期設備（ふ化施設等）一式の物納支援という形で、各都道府県の水産試験場等の研究機関等からも技術指導の協力を各団体が得ながら推進しています。

2017年度、2018年度、2019年度に物納支援を行った団体からは、すでに地場産のワカサギ親魚の採捕や、それによる他水域へのワカサギ受精卵の販売・供給等が実施されとの報告がありました。今後も、ワカサギ釣り場創設といった、地域のニーズに対し、国や研究機関、漁業者団体等からの周知広報を含めた協力を得ながら、釣り界がLOVE BLUE 事業を通じて、支援して参ります。

ワカサギに学ぶ会



2020年度は新型コロナウイルスの影響により「第25回ワカサギに学ぶ会」は中止になりました。写真は2019年度「第24回ワカサギに学ぶ会」へ参加し、本事業のご説明をしている様子になります。

4年間累計 18 団体

2020 年度

- | | |
|---------|------|
| 014：兵庫県 | 東条湖 |
| 015：北海道 | 網走湖 |
| 016：栃木県 | 川俣湖 |
| 017：新潟県 | 奥只見湖 |
| 018：宮城県 | 花山ダム |

2017 年度

- 001：群馬県 鳴沢湖
- 002：長野県 美鈴湖 / 小花見池

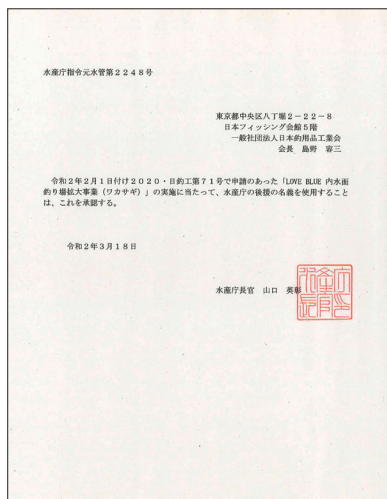
2018 年度

- 003：埼玉県 名栗湖
- 004：千葉県 高滝湖
- 005：兵庫県 音水湖
- 006：茨城県 霞ヶ浦
- 007：群馬県 梅田湖
- 008：島根県 尾原ダム湖
- 009：山梨県 河口湖

2019 年度

- 010：佐賀県 北山湖
- 011：山形県 横川ダム
- 012：山梨県 山中湖
- 013：北海道 しのつ湖

水産庁後援名義使用許諾 文書



水産庁後援内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)は2020年度5団体を採択～

2020年度採択団体(5団体)

- 兵庫県「東条湖」加古川漁業協同組合 4連孵化器1基/自然産卵水槽1基
- 北海道「網走湖」西網走漁業協同組合 自然産卵水槽6基
- 栃木県「川俣湖」川俣湖漁業協同組合 2連孵化器2基/自然産卵水槽1基/親魚捕獲用定置網
- 新潟県「奥只見湖」魚沼漁業協同組合 4連可搬型孵化器2基/孵化装置設置用浮棧橋
- 宮城県「花山ダム」花山漁業協同組合 4連可搬型孵化器1基/自然採卵水槽2基/親魚捕獲用定置網2張/孵化装置設置用棧橋

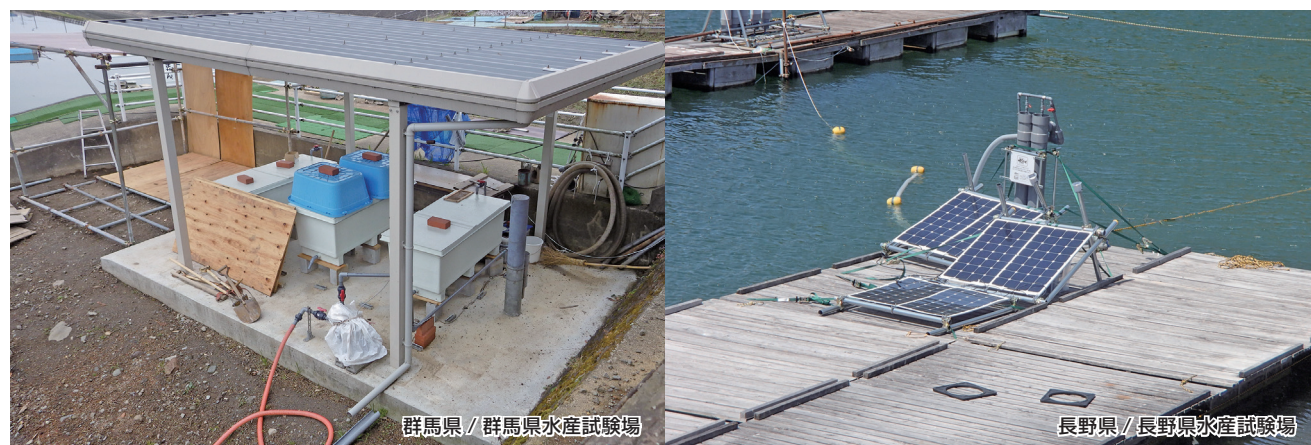


内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

～2019年度までに採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

2017年度採択団体(2団体)

- 群馬県「鳴沢湖」群馬県水産試験場 自然産卵水槽
- 長野県「美鈴湖」「小花見池」長野県水産試験場 ソーラー式可搬型孵化器

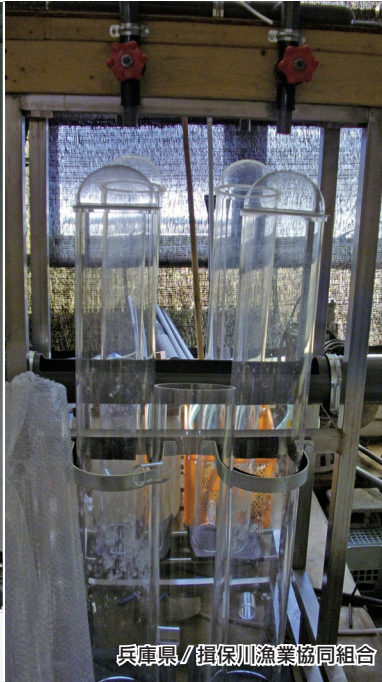


水産庁後援内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

内水面釣り場拡大事業（ワカサギ） ～ 2019年度までに採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

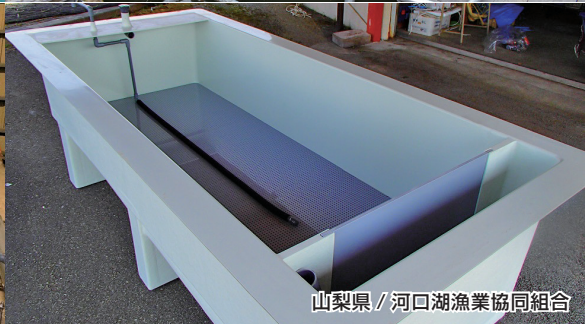
2018年度採択団体（7団体）

- 埼玉県「名栗湖」入間川漁業協同組合 4連孵化装置
- 兵庫県「音水湖」揖保川漁業協同組合 4連孵化装置
- 群馬県「梅田湖」両毛漁業協同組合 ソーラー式可搬型孵化器/自然産卵水槽



2018年度採択団体（7団体）

- 千葉県「高滝湖」養老川漁業協同組合 親魚捕獲用定置網
- 島根県「さくらおろち湖」さくらおろち湖ワカサギ育成活動推進協議会 4連孵化装置
- 茨城県「霞ヶ浦」霞ヶ浦漁業協同組合 自然産卵水槽
- 山梨県「河口湖」河口湖漁業協同組合 親魚捕獲用定置網



水産庁後援内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

内水面釣り場拡大事業 (ワカサギ)

～ 2019 年度までに採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

2019年度採択団体(4団体)

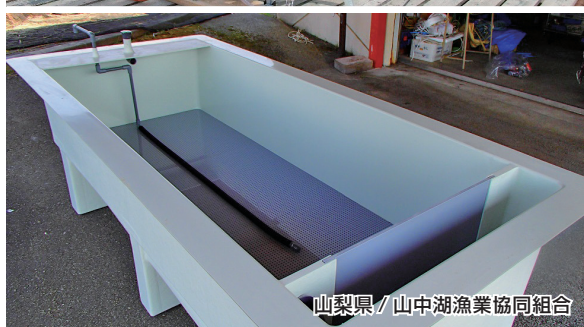
- 佐賀県「北山湖」北山湖環境保全及び安全対策会 2連孵化装置／自然産卵水槽
- 山形県「横河ダム」小国町漁業協同組合 サランロック／ゴムボート
- 山梨県「山中湖」山中湖漁業協同組合 親魚捕獲用定置網／自然産卵水槽
- 北海道「しのつ湖」新篠津村／2連孵化装置 自然産卵水槽



佐賀県 / 北山湖環境保全及び安全対策会



山形県 / 小国町漁業協同組合



山梨県 / 山中湖漁業協同組合



北海道 / 新篠津村

群馬県高崎市 富岡賢治市長へ表敬訪問 ワカサギ卵孵化施設整備支援への感謝状授与式

2018年3月28日(水) 群馬県高崎市役所市長室

LOVE BLUE 事業は、社会貢献事業として実施する水産庁後援、内水面釣り場拡大事業「ワカサギ」について、2018年3月28日、群馬県高崎市 富岡賢治 市長へ、同市鳴沢湖公営釣り場にワカサギ卵孵化施設一式設置のご報告及び御礼のご挨拶に、当工業会 大村一仁 副会長、小島忠雄委員長、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事らが表敬訪問を行い、富岡市長より感謝状が授与されました。富岡賢治 高崎市長より、「ワカサギ釣りは地元高崎市にとっても大きな収入源の一つとなっております。地域経済の発展なども含めて、本当にありがとうございます。」と感謝のお言葉をいただきました。



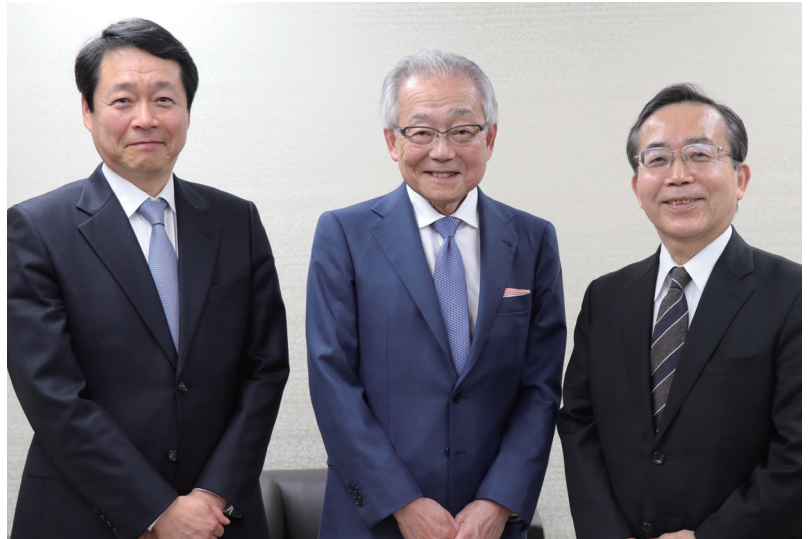
(左から：富岡賢治 市長、大村一仁 副会長、小島忠雄 委員長)

LOVE BLUE TOPICS II

～ 2019 年度環境系トップリーダーとの鼎談～

2019年12月12日 (株)シマノ本社

2019年12月12日(木)、水辺の環境保全活動を社会貢献事業として釣り界を挙げて取り組む、つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の周知広報の一環として、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 小辻智之 理事長と京都大学 松下和夫 名誉教授と一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三会長による「LOVE BLUE 世界に誇れる水辺環境の保全」とのテーマでの鼎談(三社対談)が行われました。



(左から：独立行政法人環境再生保全機構 小辻智之理事長、一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三会長、京都大学 松下和夫 名誉教授)

2019 年度までの表敬訪問 原田義昭 環境大臣 (当時) へ表敬訪問

2019年6月20日 環境省環境大臣室

原田 環境大臣からは、2013 年度から 7 年目となる、全国各地の水辺の環境保全に取り組む当事業の実績に対して「国内全体へ、細やかに取り組まれている、素晴らしい事業ですね」と評価いただきました。

また、(独法) 環境再生保全機構・地球環境基金 企業協働プロジェクト 第一号として創設し、2015 年に望月義夫環境大臣(当時)からも感謝状をいただいた「LOVE BLUE 助成」が、全国各地で水辺の地球環境保全に取り組む NGO・NPO などを支援していることについて、改めて感謝の言葉をいただきました。



左から：大村一仁 副会長、松下和夫 理事、原田義昭 環境大臣(当時)、島野容三 会長、小島忠雄 顧問、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事

LOVE BLUE TOPICS II

2019 年度までの表敬訪問 環境省表敬訪問

2017年1月20日 環境省事務次官室

LOVE BLUE 事業が取り組む社会貢献事業について、これまで積み重ねてきた実績等をご説明するため、2017年1月20日金曜日、環境省へ表敬訪問を行いました。

島野会長より、「当初は釣り場の清掃から始めた事業ですが、今では LOVE BLUE 事業として、例えば全国の各自治体を通じて、各地の皆様からプロダイバーによる水中クリーンアップへのご要望をお寄せ頂けるようになるなど、多くの皆様に喜んで頂ける社会貢献事業となっておりました。昨年(2016年)のG7伊勢志摩サミットでもプロダイバーによる水中クリーンアップ活動をお役立て頂くなど、様々なご要望にお応えしております。LOVE BLUE 事業は、参加企業が全ての釣用品に『環境・美化マーク』を表示し、その売り上げの一部を自主財源として取り組んでいるものです。これからも御省と連携しながら地球環境のためにより一層努めて参りたいと思います。」と当事業について説明を行いました。



中央：小林正明環境事務次官(当時)、左から松下和夫京都大学名誉教授、大村一仁副会長、島野容三会長、小島忠雄顧問

2019 年度までの表敬訪問 水中クリーンアップ活動 環境保全活動に大きく貢献 環境大臣から感謝状

2015年6月10日 環境省総合政策局長室

参加企業の皆様のご理解とご協力、そして釣り人の皆様一人一人の力を合わせて展開する LOVE BLUE 事業は、2015年度、新たに本事業の一環として、独立行政法人環境再生保全機構と連携し、同機構による「地球環境基金 企業協働プロジェクト」の第1号「つり環境ビジョン助成」をスタートさせました。

この事業は、日本国内で水辺の環境保全活動等を行う NPO・NGO 等の団体に対し、その活動を支援する 為の助成で、2015年度は、全国8団体を支援しました。上記の事業を踏まえ、つり環境ビジョン助成の環境保全活動に対し、「環境の日」である6月5日付にて、環境大臣より感謝状が発出され、そして6月10日(水)、LOVE BLUE 委員会小島忠雄委員長が代表して、環境省を訪問し環境省総合環境政策局 小林正明 局長(当時)より授与されました。



右から、環境省総合環境政策局 小林正明 局長(当時)、小島忠雄顧問

2019 年度までの表敬訪問 水中クリーンアップ活動 大井川一彦 茨城県知事 表敬訪問

2018年9月28日 茨城県知事室

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018:10/15~10/19)の開催を前に、釣り界が取り組む、LOVE BLUE 事業へのご理解とご協力の御礼と、世界湖沼会議での LOVE BLUE 事業の活動報告の機会を頂いたこと、並びに今後一層、茨城県内での LOVE BLUE 事業の推進をお伝えるため、(一社)日本釣用品工業会の代表が、大井川和彦茨城県知事へ表敬訪問致しました。

大井川和彦知事からは、「社会貢献事業として取り組まれている、LOVE BLUE 事業、水中クリーンアップ活動、本当にありがとうございます。素晴らしい事業です！引き続き宜しくお願いします。」との御礼のお言葉をいただきました。さらに、霞ヶ浦の水質浄化や地域経済の発展など様々な話題で、終始和やかな懇談の場となりました。



左から、柿沼清英 理事、加藤誠司 副会長、島野容三 会長、大井川和彦 知事、大村一仁 副会長、小島忠雄 顧問。

LOVE BLUE TOPICS II

2019年度までの表敬訪問 木田久主一 鳥羽市長（当時）表敬訪問

2016年5月19日(木) 三重県鳥羽市役所市長室

2016年5月19日、G7伊勢志摩サミットまであと7日となった、三重県鳥羽市・鳥羽市役所本庁舎内、鳥羽市長室へ、島野容三会長が表敬訪問しました。

G7伊勢志摩サミットへ連なる LOVE BLUE 事業の「格」

島野会長（以下会長）：サミット前の大変お忙しい時期にお時間を頂きありがとうございます。あらためまして、市長直々のお声かけで、鳥羽港の清掃の機会を頂戴し、さらには、G7伊勢志摩サミットへのおもてなし大作戦に加えて頂くことができました。我々といましては、これまで LOVE BLUE 事業として取り組んで参りました社会貢献活動に、ひとつの大きな「格」をつけて頂くことになりました。これまでのご配慮に心から御礼を申し上げます。

釣りに対するイメージが大きく変わる

木田市長（以下市長）：こちらから御礼のごあいさつに伺うべきところ、鳥羽市へお運び頂き、ありがとうございます。鳥羽は海女と真珠のふるさとです。私たちが大切にしている海をきれいにしていることに心から感謝申し上げます。

市長：多くの企業が志を同じくして参加されていることが本当に素晴らしい。釣りに対するイメージが大きく変わってくると思います。



左から鳥羽市 木田久主 市長（当時）、
島野容三会長

2019年度までの表敬訪問 石井裕 南房総市長 表敬訪問

2016年4月18日(月) 千葉県南房総市役所市長室

委員長：水中クリーンアップ活動の他にも、昨年度から「つり環境ビジョン助成」という活動を始めています。これは独立行政法人環境再生保全機構における地球環境基金企業協働プロジェクト第1号として始まったもので、水辺の環境保全を考える NPO など諸団体を全国規模で支援するものです。昨年度は、8団体を助成いたしました。その活動を評価頂き、環境大臣から感謝状を授与されました。市長：それはすごいですね。さまざまな活動をされている中で、私たちの南房総市を水中クリーンアップ活動の場として選んで頂いてうれしく思っています。水の中は自分たちでは、なかなか清掃できないので、プロのダイバーの方々には水中を清掃頂けるのは、とてもありがたいです。

市長：南房総市は三方を海に囲まれているので、多くの釣り人が訪れます。南房総市の観光シーズンは冬なのですが、釣り人の皆さんには年間を通して、楽しんで頂いているようです。



左から南房総市 石井裕 市長、
小島忠雄 顧問

2019年度までの表敬訪問 中山一生 龍ヶ崎市長 表敬訪問

2017年5月12日(金) 茨城県龍ヶ崎市役所市長室

LOVE BLUE 事業は全国で喜ばれる事業

市長：我々龍ヶ崎市 はもちろんですけども、LOVE BLUE 事業は全国できっと喜ばれる事業だと思いますので、是非頑張ってください。皆さんも喜ばれる事業だと思いますので、牛久沼も含めてよろしくお願ひします。『LOVE BLUE』っていう事業が良いですね。さわやかな清潔なイメージで。今日は、かえってご丁寧にご来訪頂きましてありがとうございました。委員長：こちらこそ貴重なお時間を頂きありがとうございました。これからも茨城県下を含め頑張ってください。ご指導の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



左から龍ヶ崎市 中山一生 市長、
小島忠雄 顧問

コロナ禍と釣り～非接触型レクリエーションの可能性～

長引くコロナ禍は、私たちの生活や経済活動を大きく変えています。コロナ禍への対策は、人と人との接触を避けることが基本です。そのため企業では、在宅勤務が奨励され、大学でも講義、学内会議等のすべてがオンライン化し、小中学校や高校などでもオンライン授業が広がっています。

さらにオフィスだけでなく、工場など生産・物流の現場でも対面接触を避けるため、デジタル技術を通じて生産・物流過程を無人でコントロールし、効率を引き上げる試みが加速しています。対面接触を避けた経済活動を可能にする「非接触経済」ともいえるべき、新しい経済システムへの移行が始まっているのです。

その一方、コロナ禍でレジャーが限られる中、屋外で「密」を回避できるレクリエーションである釣りがブームになっているとの報道もあります。コロナ禍で様々な活動の自粛を強いられているからこそ、「屋外に出て自然の中で遊びたい」というアウトドアレジャーへの渴望が高まっているのです。その結果、“三密を避ける”非接触型で、人と距離を取りながら遊ぶことができる“釣り”が新たなブームになっているようです。

このブームの中で、釣り人をはじめ、釣り界全体が LOVE BLUE 事業を通じて、より一層、地球環境保全活動へ注力しながら、これまで以上に釣りのマナー意識を向上させることで、新たな社会構造におけるレクリエーションとして発展されることを願っています。

感染拡大の状況をしっかり見極め、必要な対策をとり、釣り場環境を保護するためのルールをしっかり守った上で可能な限り釣りを楽しみたいものです。連綿と受け継がれてきた釣り文化の未来は釣り人一人ひとりの良識にかかっています。



京都大学名誉教授
松下和夫

公式FACEBOOK・公式ホームページのご案内

公式FACEBOOKでは最新の情報(水中クリーンアップ活動等)を配信しています。

公式ホームページでは自治体や地元からの生の声や、詳細な活動報告を掲載しています。

ぜひご覧ください。



FACEBOOK LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE
FACEBOOK



LOVEBLUE 検索

LOVE BLUE HP
<http://www.loveblue.jp/>

